

# 2018年 春期・夏期 特別講座

講師: 花井哲郎

会場: 春期・夏期いずれも ノワ・アコルデ音楽アートサロン

(阪急宝塚線「服部天神」駅より徒歩5分) 詳細は受講を申し込まれた方に別途お送りします。



## 春期特別入門講座 \*この講座のみの受講も可能です!

日程: 3/18(日) 午前10時30分~12時30分 グレゴリオ聖歌  
午後1時30分~5時30分 ルネサンス・ポリフォニー

受講料: 8,000円 学生4,000円

全くの初心者のための講座です。グレゴリオ聖歌の概要、四線譜の読み方、古ネウマの基本の説明、またルネサンス音楽が記された計量記譜法の読み方の解説をし、簡単なポリフォニー作品が歌えるようにします。初めて通年の講座を受講される方、あるいは受講を検討しておられる方を対象としていますが、この講座だけ受講されても構いません。

## 夏期集中講座 \*この講座のみの受講も可能です!

日程: 7/28(土) 午前10時30分~12時30分 グレゴリオ聖歌  
午後1時30分~5時30分 ルネサンス・ポリフォニー  
7/29(日) 午前10時30分~12時30分 グレゴリオ聖歌  
午後1時30分~5時30分 ルネサンス・ポリフォニー

## 練習予定曲

グレゴリオ聖歌 聖母ミサのための聖歌  
*Gregorian chant, Proprium missae de Beata Virgine*  
ジョスカン・デ・プレ ミサ《デ・ベータ・ヴィルジネ》より  
*Josquin des Prez, Missa De beata virgine*

受講料: 15,000円 学生7,500円

グレゴリオ聖歌とルネサンスの合唱音楽を2日間集中して学びます。簡単な解説はありますが、主に歌唱を中心の実践的な講座です。グレゴリオ聖歌の入門として、さまざまな聖母の祝日で歌われるミサの聖歌を練習します。四線譜の読み方、教会旋法の説明から始め、10世紀の古ネウマも参考にしながら歌っていきます。そしてやはり聖母の祝日のためのポリフォニー(多声楽曲)のミサ曲を歌います。ジョスカン・デ・プレが聖母ミサのグレゴリオ聖歌の旋律を使った名作ミサ《デ・ベータ・ヴィルジネ》のなかから、主にその最初と最後の樂章であるキリエとアニス・ディを練習する予定です。楽譜はルネサンス時代に使われていた白色計量記譜法による筆写譜を使います。

合唱経験があり、一般的な合唱音楽の譜読みが自分でできる方が対象です。計量記譜法については始めに説明しますので、初めての方でも受講できます。

# フォンス・フローリス古楽院

## 2018年度関西講座 受講生募集



フォンス・フローリス古楽院は、西欧中世・ルネサンスの時代の音楽を、主に歌のアンサンブルを中心として実践する人たちのための学びの場です。

古い音楽にふさわしい発声の基本、記譜法、声と声のアンサンブル、言語の感覚、音楽史の知識、そして古い音楽の持つ深い靈性と高貴な精神性を、様々な楽曲を通して、ともに楽しみながら学んでいきましょう。

【関西講座申込み・問い合わせ先】 井上 phone/fax: 06-7172-8959 [ecclatin@icloud.com](mailto:ecclatin@icloud.com)

主催: フォンス・フローリス <http://www.fonsfloris.com/>

土曜 午後1時～4時 (8/11のみ午後1時30分～5時30分)

## 練習予定曲

### グレゴリオ聖歌 晩課のための聖歌

Gregorian chant, Canti varii ad Vespras

### ピエール・ド・ラ・リュー マニフィカト、「めでたし 元后(サルヴェ・レジーナ)」

Pierre de la Rue (ca. 1452-1518), Magnificat, Salve regina

講座では、西洋音楽の源泉であるグレゴリオ聖歌と、その聖歌を基にして15、16世紀ルネサンスの時代に花開いたポリフォニー（多声音楽）を関連付けながら学び、歌っていきます。グレゴリオ聖歌に関しては中世の記譜法である古ネウマ譜を解読し、またポリフォニー作品はルネサンス時代の計量記譜による楽譜を用いて練習します。

2018年度はルネサンス時代の巨匠のひとりで、没後500年記念の年を迎えるピエール・ド・ラ・リュー Pierre de la Rue の音楽を学びます。ド・ラ・リューはハプスブルク宮廷に長年仕えた作曲家で、憂いと慰めに満ちた、複雑でありながら心打つ作品を多数残しています。その中からタベの祈り「晩課」で歌われる聖母マリアの歌「マニフィカト」、そして聖母への祈りの歌「めでたし 元后(サルヴェ・レジーナ)」を取り組みます。また、晩課のための様々なグレゴリオ聖歌を学び、11月の発表会ではド・ラ・リューの作品と合わせて晩課の形式で練習の成果を発表します。

講座は合唱経験があり、一般的な合唱音楽の譜読みが自分でできる方が対象です。記譜法については、春期入門講座でグレゴリオ聖歌と計量記譜法の基本を解説しますので、初めての方はぜひ受講してください。参加できない初心者の方はアシスタントによる指導を別日程で設けることもできますのでご相談ください。また、正規の講座以外に受講生有志による任意参加の自主練習が企画されます。日程、会場と参加費についてはあらためてお知らせします。

日程: 4/14(土)、5/26(土)、6/16(土)、8/11(土)\*、9/8(土)、10/13(土)、11/3(土祝)  
11/17(土) 総練習、11/18(日) 発表会

講師: 花井哲郎。ただし、\*印(8/11)は安郵尚美による夏期特別集中補習。

会場: 母の家ベテル (阪急神戸線「御影」駅より徒歩7分)。詳細は受講を申し込まれた方に別途お送りします。

受講料: 40,000円 学生20,000円 (講座全6回、特別集中補習1回、総練習、発表会参加費。資料代含む)

講座受講にあたり、入会金3,000円を申し受けます。(東京・関西いずれかで初年度一回のみ。その後、別の講座を受講する際に再度お支払いいただく必要はありません)

トライアル受講として、講座初日(4/14)を受講料4,000円として承ります。引き続き受講される場合は、残額をお支払いいただきます。



11月18日(日)に発表会を行います!

母の家ベテルにて

発表会の総練習: 11/17(土) 午後1時30分～5時30分

発表会: 11/18(日) 午後4時開演(集合は午後1時)

## 講師プロフィール



花井哲郎 Tetsuro Hanai

古楽演奏家。早稲田大学第一文学部哲学専攻卒業後、アムステルダム・スウェーリング音楽院にて、オルガンとチェンバロを学ぶ。ロッテルダム音楽院において合唱指揮と管弦楽指揮のディプロマを取得。ブラバント音楽院にて古楽声楽アンサンブルをレベッカ・ステュワートに師事。滞欧中、教会音楽家、合唱指揮者、鍵盤楽器奏者として活動し、またグレゴリオ聖歌の研究・演奏活動にも従事する。1997年に東京にてヴォーカル・アンサンブル カペラを創設、以来ルネサンス・フランドルの宗教作品の演奏を続ける。2005年には古楽アンサンブル コントラポンツを結成、リーダーとして17世紀を中心としたバロックの宗教音楽演奏にも力を注ぐ。また、古楽をレパートリーとする管弦楽団、合唱団、声楽アンサンブルを指導、徹底した古楽の立場からの演奏・普及に努める。国立音楽大学講師。



アシスタント: 安郵尚美 Naomi Yasumura

大阪教育大学教育学部教養学科芸術専攻音楽コース卒業。その後フォンティース音楽院(オランダ・ティルブルグ)古楽声楽アンサンブル科にて、レベッカ・ステュワート氏の下、グレゴリオ聖歌からバッハのコラールに至るまでの様々な時代・地域の宗教曲・世俗曲とその歌唱法を学ぶ。2011年マスターディプロマ取得。また、同音楽院にて、ルイ・ビュスケンス氏に合唱指揮を学んだ。帰国後は主に中世・ルネサンス音楽の歌手・指導者・ヴァイオリストとして関東・関西で活動している。「ヴォーカル・アンサンブル カペラ」「ムジカ・セルペニティス」メンバー、「グレゴリオ聖歌を学び歌う会」主宰。